

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院分院腎センター内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みにになり、ご自身やご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。また当研究は研究倫理審査委員会の審査を受け、研究の実施について病院長の許可を得ています。

【対象となる方】

調査対象となる期間： 1992年9月1日 ～ 2005年7月30日の間に虎の門病院分院腎センター内科に入院・通院し、皮膚生検・腎生検・病理解剖でコレステロール塞栓症と診断された方

【研究課題名】

コレステロール塞栓症による透析導入リスク検討

【研究の目的・背景】

《目的》

コレステロール塞栓症と診断された患者さんについて、コレステロール塞栓症を発症してから26週以内のクレアチニンの推移とその後の透析導入率を調べます。

《研究に至る背景》

コレステロール塞栓症は腎機能を悪化させ、透析導入や死亡リスクを増加させると知られています。しかしコレステロール塞栓症を発症してから透析導入に至るリスク因子についてはよく分かっていません。本研究ではコレステロール塞栓症を発症してから腎機能が悪化した患者さんとそうでない患者さんで透析導入率に差があるかを比較することを目的としています。

【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2018/7/20 ～ 2018/8/31

【単独／共同研究の別】

虎の門病院分院単独研究

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては、特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑

誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 虎の門病院分院腎センター内科 乳原善文 のもと
研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が
特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

年齢、性別、好酸球数、eGFR、クレアチニン、コレステロール値、原疾患、内服薬、喫煙
歴、皮膚病理所見、腎病理所見

【研究代表者】

虎の門病院分院腎センター内科 部長 乳原善文

【虎の門病院分院における研究責任者】

虎の門病院分院腎センター内科 部長 乳原善文

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範
囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族の診療情報につき、
開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。
また、ご自身やご家族の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場
合には研究対象といたしませんので、 2018 年 7 月 31 日 までの間に下記の相談窓口
までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が
生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院分院 腎センター内科 ・ 乳原善文
電話 044-877-5111(代表)